



### No 2749

2015-2016年度

会長 中元耕一郎

幹事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗

# 有田

担当：脇村副委員長

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30  
 例会場 紀州有田商工会議所6F  
 〒649-0304  
 有田市箕島33-1  
 紀州有田商工会議所2F  
 有田ロータリークラブ  
 Tel (0737) 82-3128  
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日

ホームページ  
<http://www1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>  
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

テーマ



### 世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

テーマ



### 奉仕の理想車を走らせよう!!

Let's drive your ideal car of the service!!

### 本日のプログラム

平成27年9月3日 第2750回

- ・ 会員卓話：酒井 隆正 君  
「自動車についてのお得な情報」
- ・ ソング：「君が代」「奉仕の理想」

### 次回のお知らせ

平成27年9月10日 第2751回

- ・ 会員卓話：岩橋 行伸 君 「私の好きな焼き物」  
上野山 捷身君 「卓話について」
- ・ ソング：「我らの生業」

### 前回の報告（第2749例会）

開催日 平成27年8月27日(木)

点 鐘 (中元会長)

ゲストの紹介 (橋爪(誠)親睦活動委員長)

ゲスト：ムンフツェツェグ・メンドバヤルさん  
ムンフーエルデネ・メンドバヤル君

### 短期留学生挨拶

#### メンドバヤル ムンフエルデネの感謝の言葉

本日は私のためにお集まり下さって有難うございます。

こんにちは、有田ロータリークラブの皆様の前でこうやって立っていることがと



ても信じられない気持ちです。私をこんな素晴らしい国へ来るチャンスを与えて下さって有難うございます。

日本に着いた初日からロータリーの皆さん一人一人が私を一生懸命にお世話下さいました。本当なら一人一人のお名前を挙げたいところです。ロータリーの皆様以外にも本当にたくさんの方々にお世話になりました。

とても短い間でしたが、日本文化に触れ、日本の家庭の中で生活が出来ました。そして自分の専門分野の会社を訪問し、和歌山大学まで連れて行って頂きました。数え切れないほど多くのことを経験出来ましたが、その中でも最も印象に残ったお話をしたいと思います。

私はロータリークラブが国際交流事業、そして日本とモンゴルの友好のために行う活動をよく理解しています。一番魅力的だったのはロータリーの皆さんの一人一人が自分のお仕事に強い責任感を持っておられることです。私はまだ社会に出ていませんが今後やって行きたい夢があります。現在のモンゴルは貧富の差が激しく、総人口は300万人しかいません。しかし、モンゴルの持つ可能性は大きいと考えます。モンゴルは若年層が多いのですが、かなりの就職難の状況にあります。私は彼らが様々な分野で働けるように仕事を広げて行きたいと思っています。

皆さんは立派な家庭を築き、地域の方々とも交流を行い、そして世界にまで目を向けて活動していられることに私は深い感銘を受けました。私は今後、皆さんを人生の先輩としてその知恵を借りながら、自分のできることを真剣に考え、日本とモンゴルの友好や交流を発展させるために頑張っていきたいと思っています。

最後になりましたが、有田ロータリークラブの皆さん、来年、再来年にでも是非一度モンゴルにいらしてください。私の家族がお待ちしております。皆さん、このような機会を与えて下さって本当に有難うございます。心より感謝申し上げます。



ムギ君のお姉さまエマさんに日本語通訳をしていただきました。

**会長の時間** (中元会長)

当クラブの国際奉仕事業の目的は、国際交流を通じて多様な価値観を涵養し、世界各国の人々と友好関係を結び、ひいては世界平和を目指すことにあり、私は考えています。



その主旨に基づいて、今回モンゴルからメンドバヤル君(通称:ムギ君)を招聘し国際奉仕活動を行ってきました。日本の人々や家庭・文化・歴史・ITなどを彼に触れてもらうと共に、私達も彼から学ぶ点が多かったと思います。

今回の活動に際し、国際奉仕委員会をはじめ当クラブのいろいろな方々が非常に頑張ってくれました。心から感謝いたします。

今回の活動は小さな歩みかもしれませんが、非常に重要な最初の一步であると、私は思っています。何事も、最初の一步はよく失敗するものです。大事なことは失敗を恐れず、前に踏み出す勇気を持つことが何よりも大事だと考えます。そして、この小さな歩みを諦めることなく一歩一歩積み重ねる。このことこそが、今私たちに求められているのではないのでしょうか。

**幹事報告** (上野山(栄)幹事)

○来簡書類

1. 2640地区 2014-2015年度辻ガバナーより記念誌、ロータリーモーメント冊子、地区大会記念ダイジェストDVD、ガバナー月信が届く。記念誌・モーメント冊子は希望の方は持ち帰ってください。ガバナー月信とDVDは事務局に置いてありますのでご覧ください
2. 国際ロータリー日本事務局経理室 2015年9月のレート1ドル=124円
3. 有田2000ロータリークラブより10/21ポンピバックダーラーさんへの例会講師派遣依頼(橋爪(誠)カウンセラーへ)
4. 公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金事務局より募金のお礼状が届く
5. 紀文まつり実行委員会より「第36回紀文まつり花火大会」お礼が届く

○例会変更・他クラブ週報 (後方掲示)

**ロータリー友誌** (脇村R広報副委員長)

ロータリーの友誌8月号の紹介

<横組み>

1. RI会長メッセージ (P3)
  - ・私たちの仕事は「最高でなければ良いとは言えない」
2. 特集 あなたのクラブは? —仲間を増やすために (P7~16)

- ・女性の割合と平均会員数
- ・「オープンロータリー」の開催
- ・例会の食事のエピソード

3. ロータリーデーを楽しむ (P24~29)
  - ・6つの事例紹介

<縦組み>

4. 出会い、感動、夢への挑戦 / 下関市教育長 波佐間清 (P4~8)
  - ・人との「出会い」によって、子どもは「感動」する。
  - 「感動」することによって、子どもは「成長」する。
5. 友愛の広場 (P13~17)
  - ・100歳会員ついに誕生 / 鳥羽ロータリークラブ

**出席報告** (岩橋例会運営委員)

本日の会員数27名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数22名

(出席規定免除会員7名)

91. 67%

8/6 82. 61%

MU: 上野山(栄)君

**ニコニコ箱の報告** (中村SAA)

中元君:国際奉仕委員会、会員の皆様、モンゴル留学生への御協力ありがとうございました。ムギ君、御活躍を祈念しています。

上野山(栄)君:ムギ君、お姉さん、ようこそお越しくださいました。日本での滞在は意義深いものになりましたか。モンゴルでの活躍をお祈りします。アテンドされた会員様、おつかれさまでした。橋本さん、卓話よろしく願います。

児島君:橋本さん、卓話楽しみです。

上野山(英)君:橋本君、本日、卓話よろしく願います。

上野山(捷)君:橋本拓也君、卓話ご苦労様です。国際奉仕に参加・協力できなくて申し訳ありません。

脇村君:ムギ君、短期間でしたが、おつかれさまでした。橋本さん、卓話よろしく願います。

嶋田(崇)君:ムギ君、エマさん、今日のご苦労さまでした。橋本さん、卓話宜しく願います。

石垣君:橋本君、卓話御苦労様です。よろしく願います。

橋爪(誠)君:エマさん、ようこそ有田RCへ。今日は有田RCを楽しんでいってください。橋本さん、卓話よろしく願います。

川村君:モンゴルのムギ君、エマさん、ようこそいらっしゃいました。心より歓迎します。

橋本君:本日の卓話頑張ります。

岩橋君:橋本拓也君、卓話楽しみにしています。

應地君:橋本さん、卓話楽しみにしています。残念ながら、医師会の会議で早退します。

松村君:ムギ君、エマさん、ようこそ有田RCへお越し下さいました。成戸文子様、嶋田ひで様、ご入会おめでと



うございます。  
 宮井君:橋本君、本日の卓話ご苦労さんです。楽しみにしています。  
 橋爪(正)君:橋本さん、卓話御苦労さまです。  
 酒井君:橋本様、本日の卓話楽しみです。よろしくお願ひします。  
 中村君:ムギ君、短い間でしたが日本を楽しんでくれたか。次回の来日を楽しみにしています。橋本さん、卓話よろしくお願ひします。

卓話

「エネルギーと環境」

会員 橋本 拓也 君

人類のエネルギー利用は、数百万年前に火を発見したところから始まる。その後の長い歴史の中で、薪・水車・風車・動物の力を利用してきたが、18世紀産業革命により石炭を、その後は石油がさまざまな用途の燃料として大量消費されてきた。



世界のエネルギー需要は、2030年に向けて大幅に増加する。開発途上国における人口増加、経済発展、生活水準向上、自動車保有率上昇などでエネルギー需要が急速に増加する。一方、日本は減少傾向。

石炭や石油の消費、セメントの生産など人間活動により大量のCO<sub>2</sub>が大気中に放出される。また、大気中のCO<sub>2</sub>の吸収源である森林が減少する。これらの結果として大気中のCO<sub>2</sub>は年々増加する。地球温暖化による影響は、気温や降雨などの変化を受けて、自然環境から人間社会に及ぶまで幅広いエリアに影響が出る。例えば、農作物の適地の変化、高潮・台風・洪水などの災害、熱中症や感染症などの健康への影響など種々の影響を及ぼす。

CO<sub>2</sub>濃度は、1万年前から18世紀の産業革命が始まるまで殆ど安定していたが、産業革命以降化石燃料の大量使用により濃度が急速に上昇した。過去100年の主な変化は以下の通り、

- 世界の平均気温が、この100年間で0.74℃上昇
- 平均海面水位は17cm上昇
- 北極の海氷が減少
- 世界各地で降水量が増加、干ばつの影響が増加
- 熱波・豪雨の頻度が増加など・・・
- 気候システムが温暖化してきていることに疑う余地が無い、日本にも色々な影響。
- 台風が年々増加し、大型化して被害が増大
- リンゴやミカンの栽培適地が変化(将来有田市はミカン栽培に向かない地域)
- 健康への被害が変化、熱中症発症件数が年々増加
- 熱ストレスによる死亡リスクが上昇、
- 感染症の媒介生物の分布域が拡大など

地球温暖化の影響を防止するためには、大気中の温室効果ガスの濃度を安定させる必要がある。現在、人間が化石燃料の使用などにより排出する温室効果ガスは、海や森林の光合成などで吸収される量の倍以上。地球温暖化の影響を安全なレベルまで抑えるためには、現在の世界の総排出量を半減させ、排出量と吸収量をバランスさせること。

1992年に、世界192カ国が「気候変動枠組条約」を採択した。1997年京都会議では、先進国全体で2008年-2012年の5年間平均で、1990年比5%のCO<sub>2</sub>削減目標を掲げた。しかし、5%の削減では、地球の大気中のCO<sub>2</sub>濃度は確実に増え、温暖化は止められない。参加国のCO<sub>2</sub>排出量は、全世界の三割しか占めていない。米国が途中退場したり、取り組み目標の基準年が公平でなかったりと幾つかの問題があったが、日本は開催国として1990年を基準年とする厳しい条件を合意した。

世界が自然体で何もCO<sub>2</sub>排出削減の努力をしないと、2100年にはCO<sub>2</sub>濃度が550ppmを超え、気温が2~6度上昇、海面上昇が50cmを超える状況に陥ってしまう。取りうる対策は沢山ある。例えば①省エネルギーの推進を世界的規模で浸透、②既存エネルギー利用のクリーン化推進、③再生可能エネルギー・新エネルギーの活用を推進、④電力貯蔵・CO<sub>2</sub>貯留など、環境技術の開発、⑤植林・緑地化などのCO<sub>2</sub>吸収源の拡大、⑥磁力・宇宙太陽・物質融合などの超先端技術の実用化・・・など。

年末にはパリでCOP21が開催され、全世界的な取り組みが検討される。中国も参加してきて良い動きのように見えるが、目標設定は各国の色々な思惑があり、非常に難しい所である。しかし、今回の最大の目標は、中国・米国を含め多くの国が共通のテーブルに着くこと。

今後は、①CO<sub>2</sub>回収・貯留(CCS)、②水素燃料、③バイオマス燃料、④シェールガス、⑤メタンハイドレート、⑥海洋エネルギーなどの新たな技術やエネルギーに期待するところ大である。人類は今まで、より暮らしやすい、より快適な生活を求めてきた。これからもその追及はやむことが無い、そのためにはエネルギーは絶対必要なもの。50年後、100年後にどのようなことがおこっているのか。技術革新・ブレイクスルーがあり、現在発想も抱かないようなエネルギーが発見されているかもしれない。



閉会・点鐘 (中元会長)